



生涯現役スキル活用型 雇用推進事業

沖縄県内の中小企業等で、新たに採用した若手社員（若年者）とベテラン社員（高齢者）とのペア就労に取り組み、また、併せて高齢者雇用確保措置の実施や働き方の改善などから、人材育成や人材定着を図る企業に対して助成金を交付します。

また、企業向けの「働き方改善」に関するセミナー等も行っています。

セミナー例

高齢者の就業促進、労働参加率の向上、雇用・労働・職場環境を図り、企業向けセミナー、勉強会、報告会などの機会を提供することによって、それぞれの企業にとっての「働き方改革」を推進しています。



問い合わせ

公益財団法人沖縄県産業振興公社
生涯現役スキル活用型雇用推進事業

☎ 098-859-6239

✉ jinzai@okinawa-ric.or.jp



〈働き方の改善〉フレキシブル退社制度
〈助成金内容〉3者でのペア就労実施

時間・目標管理の意識を各人が身につけ定時の縛りから開放されること。働き方改革の要だと考えます。

南西電設株式会社

【対応者】代表取締役社長 親泊 政夫、取締役専務 新垣 淳

代表者	親泊 政夫		
設立	昭和49年	企業概要	電気工事業
住所	浦添市宮城 6-21-5		
TEL	(098) 878-3576		
URL	http://www.nanseidc.co.jp/		



▲ 親泊 政夫

▲ 新垣 淳

働き方改革にフレキシブル退社制度を導入したのはなぜですか。

過重労働を減らそうという方針が元々ありました。建設業では業務負荷が集中する繁忙期と閑散期が交互に来るので、負荷バランスを各自で調整し余裕のある時期には定時前退社が可能な本制度を導入し、働き方を柔軟なものにしたいとの思惑です。余暇時間は自己啓発等のライフスタイルの充実に使えますので、各自のスキルアップにも繋がると考えました。

実際に働き方改革を導入していかがでしたか。

「フレキシブル退社制度」は現在、内勤者を中心に利用してもらっていますが、正直、全員に浸透しているわけではありません。やはり、周りへの遠慮とか、定時という縛りがあるためだと考えます。



利用するには朝から、段取りを含めそれなりの仕事の仕方を工夫する必要があります。そうすることで各自の労働生産性のレベルが上がり会社レベルも向上する。そうなれば自ずと時短に繋がります。社員にはそういった意識改革を促しています。

三者のペア就労も実施されていますが、得られた効果や二者就労と異なる点があればお聞かせください。

若年者に対し、熟練者はこれまで培ったスキルを伝え、中堅者は主にCADや積算ソフトなどのPCを駆使して効率化できるような仕事の仕方をフォローしてもらっています。これまでの1対1のペア就労とは違って中堅が加わることで教育に厚みや補足が加わるような感じはあります。

他に取り入れている改革等があれば教えてください。

社員には、一つの現場が終わった際に3日から7日ほどのリフレッシュ休暇、休日出勤の代休を与えています。また来期から、一年を見通したエンジニアリングスケジュールや目標管理を個人で立てることを必須とし、時間の配分等を自分でできるようにしたいと考えています。

他にも、「認められたで賞」、「儲けたで賞」、「達成したで賞」など表彰制度を設け、貢献度を評価し、モチベーションアップに繋がっています。



金城勝敏

比嘉 勉

伊波正貴

ペア就労を終えて、得たものや心境の変化にはどのようなものがありましたか。

【高齢者】金城 勝敏

積算業務を中心に指導しました。設計図に沿って配線を取ったり、電気記号を見て実物の目視による確認ができること、ケーブル等の長物に補正率を加えること、図面全体を精査し箇条書きの項目の見落としに注意すること、理解不能な事項は質問すること等を助言しました。

教えることにより自分の教育能力の程度がわかり反省もしきりでした。今後のこともあるので厳しい教育も時には必要だと感じました。

【中堅者】比嘉 勉

現場管理を行っている当社にとって写真管理も主業務の一つ。今回はそこに重点をおいて教育しました。現場工事の撮影からソフトを用いたの写真整理まで、一連の指導が出来たと思います。同様に、施工図作成も指導しましたが、あまり時間を割けなかったことが今後の課題です。本人の頑張りもあり目標は達成出来たと思います。

ペア就労により、自分の技量や経験を振り返って私自身にとっても良い経験となりました。

【若年者】伊波 正貴

積算の基礎技術、図面から材料の拾い出し、工事費の算出の仕方を金城さんに学びました。比嘉さんからは、ソフトを活用した工事写真の整理を教わりました。以前は写真を何百枚も机に広げて整理していたそうで、ソフトの活用で写真整理・図面作成が高速化したことも学びになりました。

ペア就労を通して技術的なことはもとより、意見交換など話しやすい環境で学べたことも重要なことでした。学びを糧に早く一人前になりたいです。